

## 第4回図書館講演会開催

11月4日、第4回図書館講演会がオンラインで開催され、過去最多となる約60名の学生と教職員が参加した。今回は、山口誠交流文化学科教授が「日本文化としての『CA』と『おもてなし』—獨協大学図書館で『客室乗務員の誕生』を書いて—」というテーマで講演した。

山口教授は、まず時代とともに変化してきた「客室乗務員」の呼称や役割を説明した。次に、「無償奉仕」や「自己研鑽」に加え、一般常識や教養を得た先にある「品格」を特徴とした、日本独特の「おもてなし化」について解説。日本社会が、客室乗務員のような「おもてなし」に溢れている一方、おもてなしの多様化の必要性にも言及した。質疑応答では、教授のユーモア溢れた回答もあり、オンライン会場は盛り上がりを見せた。



## 外国語教育研究所 第10回公開講演会を開催

11月13日、外国語教育研究所は言語学者・作家の川添愛氏を招き「AI時代の外国語教育を考える」というテーマで第10回公開講演会をオンラインにて開催した。

川添氏は、今の人工知能の中心的技術である機械学習と、機械翻訳における機械学習、誤訳が起こる仕組みを解説した。そして、機械翻訳では、文化的な背景やその場の話者の意図までをくみ取るのは難しく「言葉を理解するAI」という認識には注意が必要であると指摘した。さらに「AIは外国語教育で活用できる場もあるが、重要なのは母語を含め言語を客観的・科学的に捉え、他言語の文化・社会的な背景を学ぶことであり、その姿勢を涵養するのが外国語学習、外国語教育なのではないか」と論じた。平日の夜にもかかわらず、研究者、教員、学生のほか、会社員など一般の方々を含め160名もの参加があった。質疑応答には多くの質問が寄せられ、充実した講演会となった。



川添氏(写真左上)

## 宗田貴行国際関係法学科教授が横田正俊記念賞を受賞

宗田貴行国際関係法学科教授が第35回(令和元年度)横田正俊記念賞を受賞し、10月22日、東京都港区にある公正取引協会事務所で行われた。

今回受賞の対象となったのは、宗田教授の論文「独禁法・景表法違反に係る消費者被害救済の改善」(2019)、「ドイツ競争制限禁止法上の行政処分による集団的消費者被害救済」(2019)、「ドイツにおけるムスタ確認訴訟制度の運用:ディーゼル排ガス不正プログラム事件を素材として」(2019)と、獨協大学法学会の紀要『獨協法学』に2015年度以降掲載した複数の論文に代表される一連の研究実績。同賞の受賞は、本学教員では初めて。



宗田教授(写真左)

## 2020年度父母懇談会オンライン開催

10月17日、父母懇談会(主催・獨協大学父母の会)がオンラインで開催された。例年、集会形式で実施されているが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止と出席者の安全確保に配慮し、映像配信とオンライン会議ツールを使用した学部学科別懇談会の2部構成での開催となった。

映像配信では、山路朝彦学長(父母の会名誉会長)がコロナ禍における大学の対応について報告。また、岡田圭子キャリアセンター所長、採用コンサルタント谷出直正氏、内定取得学生による就職に関する講演が配信された。学部学科別懇談会には、223名の父母および保証人が参加した。



学内ではオペレーターがスムーズな進行をサポートした

## 第7回交流文化学科フォーラムを開催

11月25日、第7回交流文化学科フォーラム「国際協力・地域づくりの現場から」がオンラインで開催された。当日は卒業生3名がパネリストとして参加。山崎信彦氏(15年卒)は、フランスの大学院修了後に現地で従事する地域通貨プロジェクトについて説明し「海外で地域づくりをする際には、行動、調査、チャレンジが重要」と述べた。鈴木育未氏



ペルーで活動する鈴木氏(写真奥)

(15年卒)は青年海外協力隊員としてペルーで手掛けたコミュニティ開発等について、川口直人氏(18年英卒)は勤務するソーシャルベンチャー企業で取り組む横浜市内の地域活性化について、実体験を交えて話した。司会は北野収同学科教授が務め、108名の学生および教職員が参加した。

## 秋野有紀ドイツ語学科准教授の著書が日本ドイツ学会奨励賞を受賞

秋野有紀ドイツ語学科准教授の著書「文化国家と「文化的生存配慮」ドイツにおける文化政策の理論的基盤とミュージアムの役割」(美学出版、2019)が、2019年度日本ドイツ学会奨励賞を受賞した。ドイツの国民国家成立期から現代までを視野に、法、概念、理論をめぐる議論をひもとき「文化的生存配慮」の理論的基盤をとらえ、今日の公的文化政策の中核とミュージアム像を考察する内容となっている。

同賞は、日本ドイツ学会が、ドイツ語圏に関する将来性に富む優れた研究業績を顕彰し、ドイツ語圏に関する学際的学術研究の発展に資することを目的としている。

